

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果(深谷小学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
深谷小	78	59	65	55	62
埼玉県(公立)	71	54	62	50	59
全国(公立)	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	深谷小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	98.0	95.4	94.5
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	79.2	80.7	77.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	98.0	90.7	88.8
	学校のきまりを守っている	99.0	93.5	89.5
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	92.1	71.2	67.6
	家で、学校の宿題をしている	99.1	98.0	97.1
	家で、学校の授業の予習・復習をしている	78.2	69.8	62.6
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	79.2	66.5	66.2
教科への関心	算数の勉強は好きだ	74.2	64.6	64.0
	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	80.2	67.1	64.4
	理科の勉強は好きだ	95.1	84.2	83.5
	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	82.2	68.0	64.7
その他	自分には、よいところがあると思う	91.1	82.1	84.0
	将来の夢や目標をもっている	91.1	85.7	85.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	98.0	94.8	95.2
	今住んでいる地域の行事に参加している	80.2	60.5	62.7

深谷小の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 最後まで解答し、無解答率は、低かった。
- 文章中から適切な文を書き出すこと。
- 文章に適した題名を選ぶことができた。
- 文中の主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くことが苦手である。
- 条件のある説明文を苦手としている。複数ある条件を全て網羅して解答することができない。

【算数】

- 図形問題について、知識理解が定着している。
- 情報の解釈と判断と根拠の説明は、条件に合うように式や言葉を補ってできている。また、条件を判断して、正しい色を選択できている。
- 2～3年の『数と計算』、『算数的活動』、『数量関係』の領域の既習を想起して解く問題ができない。

【理科】

- 問題に対応した分析ができ、図の示している事象を解説している文を選択することができる。
- 予想している文に合った、図の解釈を正しく読み取れる。
- 体積と重さの違いの知識理解が乏しい。
- 理科の専門用語の定着が図れていない。

【質問紙】

- 学校のきまりを守っている児童が多い。
- 学校の授業以外で、読書の時間が30分以下の児童が51.5%もいる。
- 新聞を読んでいる児童が、13.8%しかいない。
- 理科は好きだが、将来、科学技術に関する職業に就きたいと思っている児童が33.7%と少ない。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・主語や述語の関係を意識した発問や発表を心がける。
- ・短文や長文等、文章を書く機会を意識的に設ける。
- ・書いた文章を読み直す学習を進める。(個人・ペア・グループ・学級等)
- ・良文の紹介(目や耳からの吸収)
- ・文章中から適切な文を書き出すのは得意だが、適切な言葉を使って自分の言葉で説明することが苦手なので、自分の言葉で説明する機会を増やす。
- ・条件のある問題文を解くために、何度も繰り返し同様な問題に取り組み、書くことに慣れさせていく。
- ・単元を貫く活動を設定し、目的意識を持たせて学習に取り組ませる。

【算数】

- ・学年を超えて系統的に様々な解き方があることを確かめさせる。
(解き方・求め方は、1つではないこと。)
- ・既習学習の反復や長文の読解など、立式に必要な要素を導かせる問題に繰り返し取り組ませる。
- ・朝の基礎タイムの充実。(B問題に苦手意識を持たせないためにも、同様な問題を適宜取り入れる)

【理科】

- ・専門用語の正しい意味や知識の定着を図る。
- ・生活事象と絡めて理科の実験等を行い、科学に興味を持たせる。

【その他】

- ・家庭学習のさらなる充実を図る。
(友達のよい手本や深谷市のよい手本の周知『みてみて家庭学習ノート』)
- ・ねらいやまとめ、振り返りの活動を明確に示した授業づくりを徹底する。